

令和3年10月27日

中央協同組合学園校友会  
都道府県支部長 殿

中央協同組合学園校友会  
会長 中家 徹

### 中央協同組合学園・JA全国教育センター感謝の集いについて（ご報告）

拝啓 皆様方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げますとともに、日頃よりのご協力に心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナ発生を踏まえ延期いたしておりました標記感謝の集いは、去る令和3年10月22日（金）13時より東京都・高尾の中央協同組合学園（現JA全国教育センター）合同教室において、全国農業協同組合中央会との共催により校友会11名、全中8名およびJA経営マスターコース23名出席のもと無事終了いたしました。

集いでは開会にあたり、JA運動に挺身された先人の皆様方に対し全員で黙祷を捧げ、その後、別添パンフレットに基づき、主催者を代表し中家 徹全中会長より開会の挨拶を、山下 富徳全中常務理事より中央協同組合学園・JA全国教育センターの情勢について報告を行いました。

次に、作家・JA経営マスターコース塾長の童門 冬二氏より、「協同と教育」と題してビデオ講演を頂き、改めて協同組合における教育の重要性を共有いたしました。

その後、「宮脇朝男と協同組合教育」と題して、中央協同組合学園第一期生として宮脇会長の講話も直に聴講され薫陶を受けられた中家 徹全中会長と食料・農業・農村ジャーナリストの大金 義昭氏との記念対談が行われ、中央協同組合学園開校の組織決定も主導され、会長講話等を通し、学生に将来の農協運動者たれと語り掛けられた宮脇氏の協同組合教育への熱き思い等について語り合っていました。

そして、最後に、漆原校友会副会長より集い開催への協力に謝意する旨の閉会挨拶を申し上げ、集いを閉会致しました。

集いは、新型コロナウイルス感染防止の観点から校友会からの参加者は本部役員のみとさせていただきますが、協同組合教育の系譜を辿り今後の取組み強化を確認するとともに、卒業生・修了生のさらなる活躍にエールを贈り、私達を静かに温かく見守り続けてくれた学園施設へ心よりの感謝の場となりましたことを謹んでご報告申し上げます。

なお、同集いの模様につきましては、後日、「中央学園校友会ホームページ」にて配信する予定（配信日は後日連絡いたします）でございますので、周知の程よろしく願いいたします。

また、校友会では感謝の集いを記念して、「開校10周年記念映画」等のDVDを作成いたしましたので同封させていただきます。DVDはコピーが可能ですので、希望される会員がおられましたらご対応下さるよう併せてお願い申し上げます。

敬具